



意見書案第24号

オスプレイの配備撤回、饗庭野演習場での訓練中止を求める意見書

上記、議案書を別紙のとおり提出します

平成25年9月24日


栗東市議会

議長 藤田 啓仁 様

提出者 栗東市議会議員

大西 時子 

賛成者 栗東市議会議員

下田 浩 

## オスプレイの配備撤回、饗庭野演習場での訓練中止を求める意見書（案）

沖縄と本土で低空飛行訓練を繰り返し住民に不安を与えている米軍の新型輸送機オスプレイが、10月に饗庭野演習場で行われる日米合同演習に参加する方向で日米両政府が最終調整に入っていることが明らかになりました。

開発段階から重大事故を繰り返すオスプレイは、単なる「操縦ミス」というのではなく「構造的欠陥機」といわれ、アメリカの専門家からも様々な欠陥が指摘されています。日本政府は「人口密集地での飛行は避ける。ヘリモードでの飛行は基地内に限定する。安全策を講じている」と主張してきましたが、沖縄では配備初日からこの約束を無視して飛行訓練を繰り返しています。このため沖縄県議会は8月11日、追加配備に反対しオスプレイの全機撤収を要求する決議をあげています。危険なオスプレイ配備撤回・撤収は沖縄県民あげての要求になっています。

陸上自衛隊饗庭野演習場での日米合同演習は、1986年以降過去12回強行されていますが、墜落事故が続発しているオスプレイが使用されるのは、国内でも初めてのことです。報道によると、「オスプレイは空中で停止した機体から隊員が陸上に降下するヘリボンと呼ばれる作戦で使用（10月10日）され、陣地訓練（10月16日）でも使用される」とされています。危険な降下訓練や低空飛行、夜間訓練などを行う恐れもあり、ひとたび墜落などの事故が起これば、県民の生命と財産が犠牲となります。騒音による環境破壊も著しく、平穏な日常生活に多大な被害をもたらすことは必至です。

よって、日本でのオスプレイ配備撤回と饗庭野演習場での訓練中止を強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成25年9月25日

栗東市議会議長 藤田啓仁

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
外務大臣  
防衛大臣